

「横浜ドームの会」面会で市長

「民間の理解必要」

横浜にドーム球場建設を目指す市民団体「横浜ドームを実現する会」の池田典義会長(右)と代表取締役会長ら関係者12人が16日、横浜市役所を訪れ、林文市市長に面会した。2月に再結成した同会の新役員を紹介し、今後の活動方針などについて意見交換した。

(織田 匠)

池田会長は「箱モノをさつ。副会長の平松政次氏(NPO横浜ベイスターズ・スポーツコミュニティ理事)は「横浜ベイスターズは低迷しているが、新球場を造り、選手に新たな気持ちで優勝を目指してほしい」と話した。林市長は「大都市にちやんとしたドーム球場がないのは横浜だけ。ただ、ドーム球場の経営は難しく、税金を投入するわけにもいかない。民間から意義を理解

してもらいたい」が必要。(現時点では)検討というより研究する」と慎重な姿勢を見せたが、「私は極めて前向き」と述べた。同会は今後、7月下旬に1回目のシンポジウムを予定しており、広報活動などで機運を高め、9



横浜ドームについて意見交換した「実現する会」の関係者(左側)と林市長(右)

月以降に市や県など関係各団体に建設要請書を提出する見込み。